

報道各位

福岡ユビキタス特区にて 『放送波ダウンロード』による有料配信実験開始 ～ AsianQwave を7月29日より放送開始 ～

TOKYO FMは、福岡ユビキタス特区にて「放送波ダウンロードによる有料配信サービス」の実験を開始いたします。

従来の放送(ストリーム型)で進行する音楽番組にあわせて、放送波の中で配信されているコンテンツを端末にダウンロードすることが出来ます。ダウンロードした後、希望するユーザーは、通信を通じて購入のうえ鍵を入手し、コンテンツを再生することが出来ます。

2011年以降にアナログテレビが終了した跡地の周波数であるVHF-LOWを使って、全国でスタートする「地方ブロック向けマルチメディア放送」においては、従来のストリーム型とならんで、ダウンロード型のサービスが新たなビジネスを生むと注目されています。今回の取り組みは、放送波による有料蓄積型ダウンロードサービスの先行実験となります。

第一弾のコンテンツとして、西鉄エージェンシー制作の、九州・沖縄・アジアのインディーズシーンで活躍しているアーティストを応援する「AsianQwave」の番組にあわせて、番組中で紹介する4アーティストの「着うたフル®」コンテンツを、放送波ダウンロードを通じて購入出来ます。

7月29日(水)より701チャンネルにて放送配信開始(放送時間は、9:00～17:00の間で随時放送)をするのは、

「Mars／Bosh」、「ヒカリ／ばや」、「いたずら／ポラリスカブ」、「My Darling／満月」、の4つの楽曲です。

鍵を入手する際に、105円(税込)掛かりますが、購入後は「着うたフル®」コンテンツとして端末に保存されます。

なお、この実験は、7月29日、30日に福岡国際センターで開催される「九州放送機器展2009」において、福岡ユビキタス特区マルチメディア放送実験試験局の展示ブース内でもご覧頂けます。また、7月29日13:15より同展示会内セミナー会場にて、「福岡ユビキタス特区とマルチメディア放送」と題し、セミナーを開催します。

今回実験に参加するのは、マルチメディア放送ニュービジネスフォーラムにおいて、放送波ダウンロードワーキンググループに参加している以下の会社です。

<西鉄エージェンシー>

番組の企画・制作と、ダウンロードサービスへのコンテンツ提供を行います。

<TOKYO FM>

福岡ユビキタス特区マルチメディア放送実験試験局701チャンネルの編成、運用、および、番組「AsianQwave」にデータ放送とダウンロードサービスを付加する制作を行い、放送します。

<レーベルゲート>

西鉄エージェンシーの提供する楽曲の販売、および、配信管理業務を行います。

<KDDI>

レーベルゲートが販売する楽曲を放送波ダウンロード用に暗号化し、コンテンツ再生に必要な鍵（ライセンスキー）の作成と配信代行、及び、有料コンテンツの料金回収代行を行います。

また今回の実験に関しては、三井物産、ジャパンエフエムネットワーク（JFN）、NECビッグロップ、TOKYO FM 4社が共同出資している「株式会社JMデジタルメディア社」が募集し携帯電話型受信端末を提供した、200名のモニターの方が参加出来ます。本実験のユーザデータは、JMデジタルメディア社が分析・活用し、来るべき2011年に向けて、インターネット、モバイル等通信との連動も含めたサービス開発や、メーカーへ情報を提供することにより、送受信機器開発に反映して参ります。

（註1）「ユビキタス特区」とは

2008年1月、総務省の「ICT改革促進プログラム」および「ICT国際競争力強化プログラム」に基づいて創設されたもの。新たな電波利用が必要な事業に対して実験局免許を交付するなどの環境整備を行ない、革新的なサービスの開発・実証実験を支援する事業として、2007年9月4日から10月31日までプロジェクトを募集。188件の提案が寄せられていた。

（註2）「福岡ユビキタス特区」とは

「地方ブロック向けマルチメディア放送」の先行実験を実施するために、TOKYO FMと株式会社GSK-ISが「ISDB-Tsbの拡張による3セグメント放送方式の実験」を共同提案した。2008年1月25日国の第一次指定が発表されたが、「福岡ユビキタス特区」はそのとき指定された22地区の一つ。2009年3月31日、九州総合通信局より「実験試験局」免許を付与され、現在は最大出力250ワットで電波発射をし、6セグメント（3セグメント放送×2）のサービス実験を展開している。

（註3）「地方ブロック向けマルチメディア放送」とは

2011年7月24日に現行アナログテレビ放送が地上デジタル放送に移行した「跡地」である周波数、VHF-LOW（現行1ch-3ch）を使って開始することが予定されている。現在の案では、全国を7ブロックに分け、それぞれ異なる周波数をつかうこととされている。

（註4）「AsianQwave」とは

西鉄エージェンシーが運営する、九州・沖縄・アジアで活躍するインディーズシーンで活躍するアーティストを応援するサイト。<http://www.asianqwave.com/>。NTTドコモのimode、KDDIのEZwebにて公式コンテンツとして提供中の他、天神FMにて放送中（毎週日曜21:00-22:00）。

（註5）マルチメディア放送ビジネスフォーラムとは

放送局・受信機メーカー・コンテンツ関係者が中心となり、2005年6月に設立。マルチメディア放送のビジネス展開が加速されるために発足したフォーラム。現在は第五期を迎え、13のワーキンググループが実証実験などを通して活動中。

※「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンターテインメントの登録商標です。

(参考)

ユビキタス特区の創設について (総務省)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/2008/080125_5.html

VHF-LOW帯マルチメディア放送推進協議会 <http://vl-p.jp/>

マルチメディア放送ビジネスフォーラム <http://drforum.jp/>

AsianQwave <http://pc.asianqwave.com/>

九州放送機器展 <http://q-kikiten.com/>